

こちら

議会広報部

2008.4
第13号

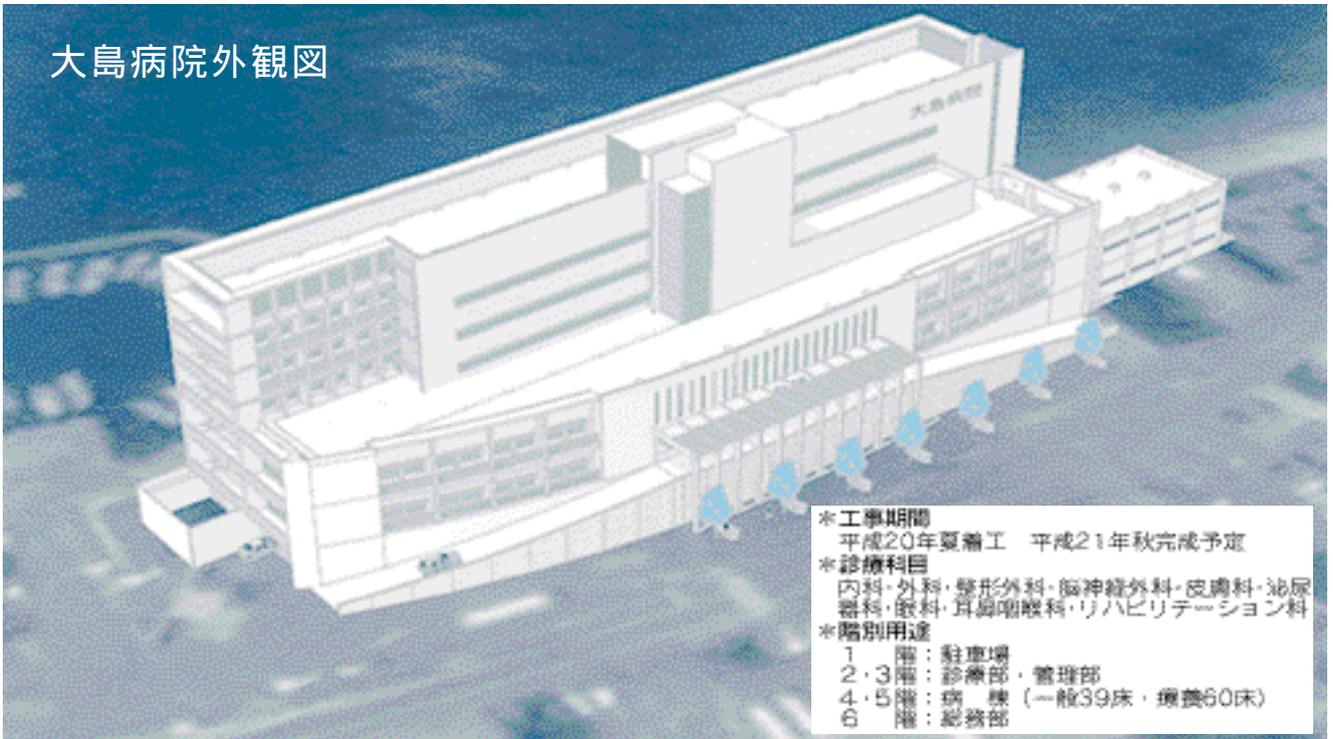
発行 / 周防大島町議会
〒742-2192
周防大島町大字小松126-2
TEL: 0820-74-1003(議会事務局)
編集 / 議会広報編集特別委員会
印刷 / (有)日良居タイムス

今回の主な内容

- 3月定例会 1 ~ 4P
- 委員会審査報告 5 ~ 7P
- 一般質問 8 ~ 10P
- 研修、その他..... 11 ~ 12P



大島病院外観図



*工事期間
平成20年夏着工 平成21年秋完成予定

*診療科目
内科・外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科

*階別用途
1 階：駐車場
2・3階：診療部・管理部
4・5階：病 床（一般39床・療養60床）
6 階：総務部

3月定例会

平成20年度一般会計予算 136億8,800万円
前年比 20億5,300万円減額

特別会計(9会計総額)	93億1,644万8,000円
公営企業会計(収益的收入予算) (病院事業)	43億 546万1,000円

平成20年第1回定例会(3月定例会)が3月7日から21日までの15日間の日程で開かれました。

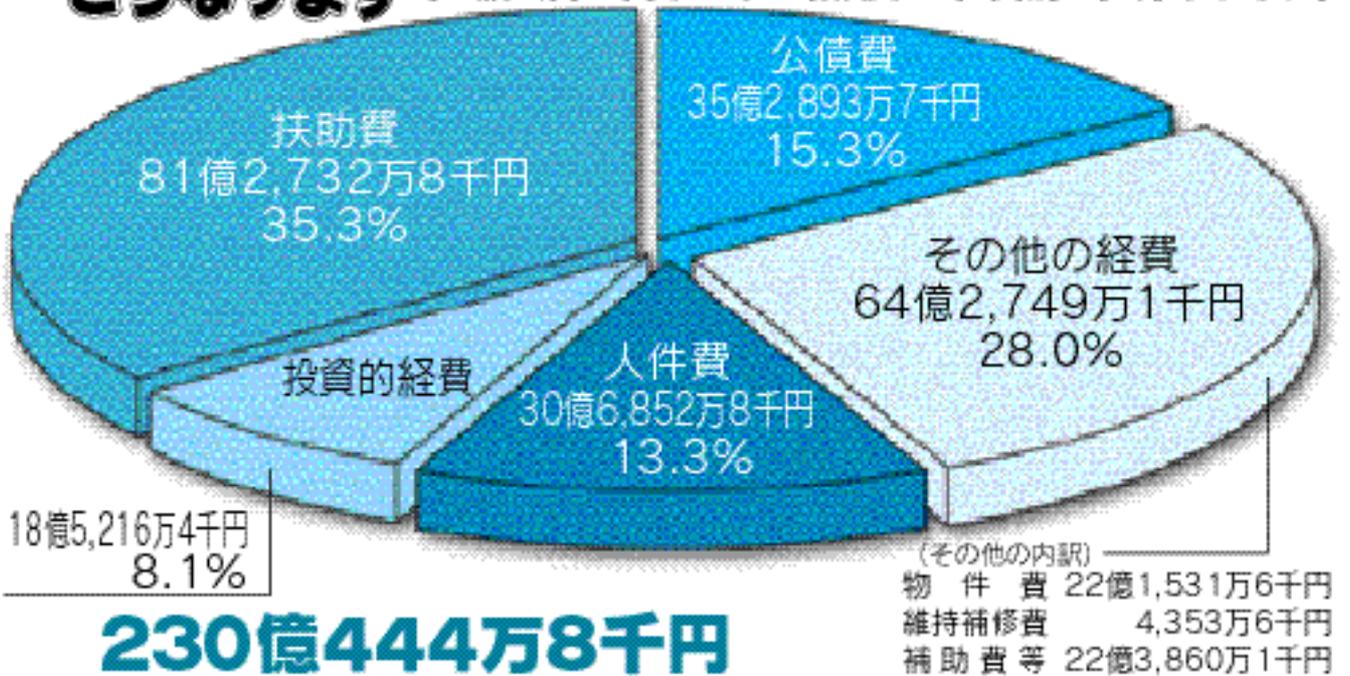
3月定例会は、この一年間の事業と予算を決める主要な議会です。

議会初日、2日、3日目までに、町長から施政方針ならびに議案の提案理由の説明を受け、20年度予算案と新規の条例制定など13議案を委員会へ

の付託審議としたほか、補正予算案など24議案を可決いたしました。

12日から各常任委員会へ付託された事項について審議に入り、18日に一般質問、最終日の21日に付託された議案について各常任委員長の報告の後、質疑・討論が行われ、当日提出された契約案件等を含め全50議案を可決し、本会議を終了いたしました。

平成20年度 予算総額(一般会計と特別会計の合計)は こうなります (一般会計と同じように仮定して性質別に区分しました)



230億444万8千円

(その他の内訳)

物件費	22億1,531万6千円
維持補修費	4,353万6千円
補助費等	22億3,860万1千円
繰出金	18億4,864万8千円
その他	8,139万円

前年度に比べて、人件費で約1億6,800万、扶助費で約39億9,700万、投資的経費で約16億1,200万、公債費で約1億2,100万、その他の経費で約2億1,000万のそれぞれ減となっている。

新たに制定した条例

- ・周防大島町職員の自己啓発等休業に関する条例
- ・周防大島町後期高齢者医療に関する条例

一部改正したもの

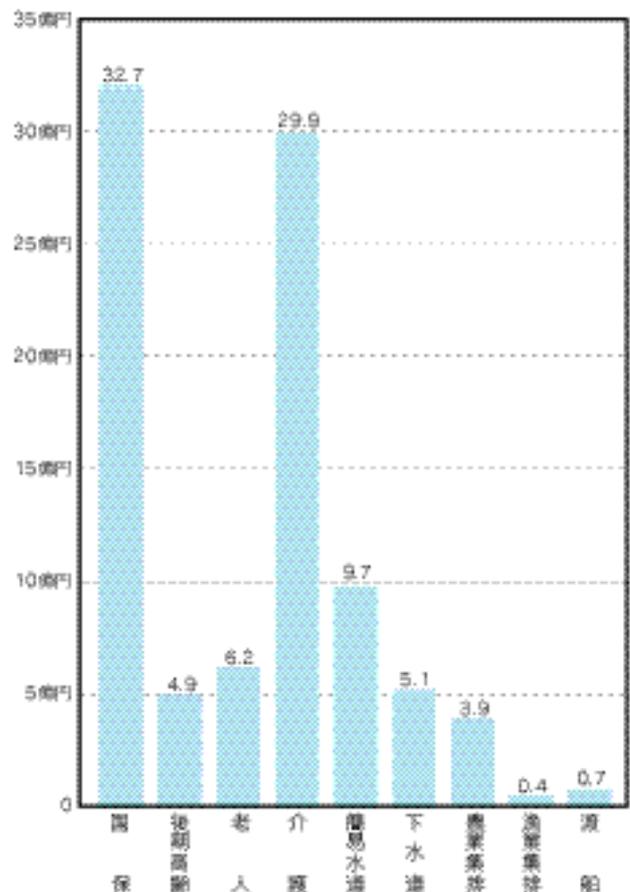
- ・周防大島町行政組織条例
- ・周防大島町営渡船設置及び運営に関する条例
- ・周防大島町職員の育児休業等に関する条例及び周防大島町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例
- ・周防大島町報酬及び費用弁償条例
- ・周防大島町長等の給与の特例に関する条例
- ・周防大島町特別会計条例
- ・周防大島町手数料徴収条例
- ・周防大島町立小学校及び中学校設置条例
- ・周防大島町国民健康保険条例
- ・周防大島町介護保険条例の一部を改正する条例
- ・周防大島町農業集落排水処理施設設置及び管理条例
- ・周防大島町立橋ふれあいセンターの設置及び管理に関する条例
- ・周防大島町産地形成促進施設設置条例
- ・周防大島町農産物加工センターの設置及び管理に関する条例
- ・周防大島町営大島駐車場条例
- ・周防大島町病院等事業の設置等に関する条例

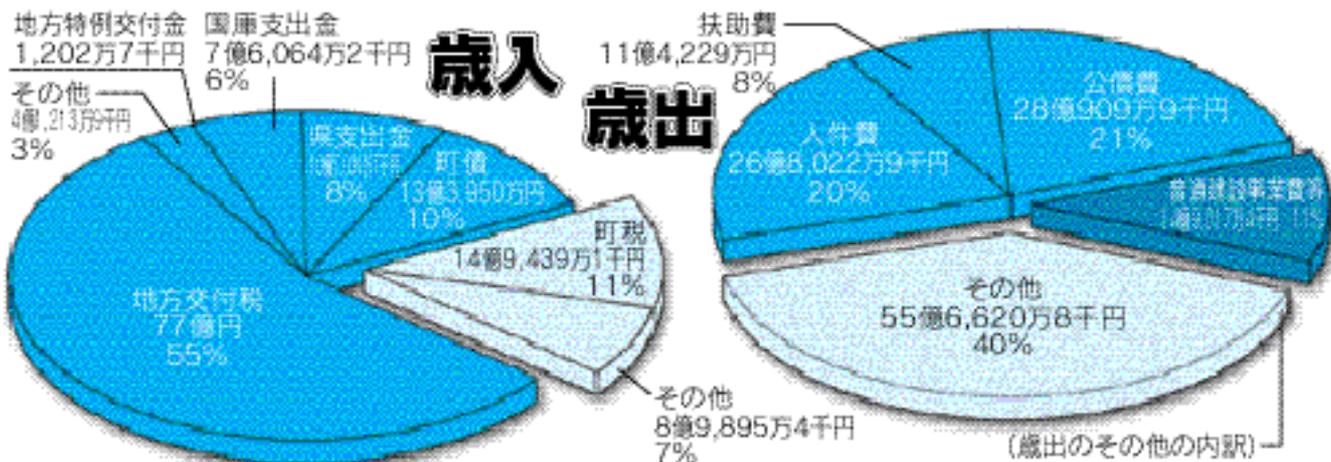
変更したもの

- ・周防大島町過疎地域自立促進計画(後期)

可決

平成20年度 各特別会計一覽





平成20年度 一般会計予算 136億8,800万円

前年度に比べて、20億5,300万円(13.0%)の減。

公営企業局会計

収益的収入 43億 546万1千円・収益的支出 42億8,699万2千円
資本的収入 17億6,490万 円・資本的支出 22億5,885万6千円

平成20年度 特別会計予算

(千円)

	国保	後期高齢	老人	介護		簡易水道	下水道	農業集排	漁業集排	渡船
総務費	7,377万8	1,833万6		9,866万2	簡易水道費	5億 7,428万6				
医療諸費			6億 2,041万3		公共下水費		3億 4,126万9			
保険給付費	21億 7,878万0			27億 9,635万7	農業集落 排水費			2億 6,030万0		
財政安定化 基金拠出金				266万1	漁業集落 排水費				3,449万8	
地域支援事業				8,243万9	事業費					7,255万6
介護予防 支援事業				1,027万0	公債費	4億 280万3	1億 7,199万6	1億 3,132万8	950万2	
後期高齢者 支援金等	2億 8,216万6									
前期高齢者 納付金等	65万7									
前期高齢者 広域連合納付金		4億 7,533万1								
老人保険 拠出金	8,629万9									
介護納付金	1億 2,942万0				諸支出金	30万0	5万0	5万0		380万9
共同事業 拠出金	4億 376万2				予備費	50万0	50万0	50万0	30万0	20万0
保険事業費	3,574万0									
諸支出金	187万1	1	5							
積立金	6万9			13万7						
繰出金	958万7									
予備費	500万0									
計	32億 708万9	4億 9,368万8	6億 2,041万8	29億 9,052万6	計	9億 7,788万9	5億 1,381万5	3億 9,217万8	4,430万0	7,656万5

後期高齢者医療事業会計が、本年度より新たに加わりました。

子育て支援の主な事業

	事業名	事業費	事業概要	
新	ちびっ子医療費助成事業	1,061万4千円	小学校1年生から6年生までの医療費を無料化	
	児童公園複合遊具設置	225万4千円	久賀中央児童公園の複合遊具を更新	
	A E D 設置	1,115万8千円	町内全小中学校にAED(自動体外式除細動器)を設置	
	東和中学校改築	3,018万9千円	東和中学校改築のための実施設計・地質調査	
	規	中学校統合経費	123万6千円	統合される中学校の生徒へ制服・体操服等を支給
		放課後子供プラン	105万円	児童クラブの無い学校区において放課後子供教室を設置
		水泳教室備品	99万6千円	大人用プールで水泳の練習ができる備品を購入
拡充	妊婦一般検診	502万7千円	妊婦一般検診(超音波検査を含む)の助成を2回から10回へ拡充	
	児童館運営	296万1千円	久賀児童クラブにおいて居残り保育を実施	

行政改革等の 取り組みにより 見込まれる効果



議員定数を26名から20名へ削減することにより **2,229万6千円**、特別職の報酬見直し(町長10%減、その他5%減)により **100万4千円**、職員数の削減により **1億7,027万9千円**、一般混乗による白木線スクールバス運行、交通体系再編により **3,564万2千円**、不燃ごみを環境センターで処理するなど、ごみ減量化・再資源化の推進により **2,940万6千円**、清掃センター・衛生センターを委託等、施設管理の外部委託により **449万3千円**、学校給食調理配食業務(東和・橘)の委託により **251万1千円**、下水道使用料改定(約30%増)により **1,519万7千円**の歳入増、以上の財政効果がみ込まれる。

各施設の指定管理者 決定

施設名	指定管理者	指定の期間
油宇集会施設	油宇自治会	平成20年4月1日 ~ 平成21年3月31日
小泊集会施設	小泊自治会	平成20年4月1日 ~ 平成21年3月31日
むつみ荘	土居自治会	平成20年4月1日 ~ 平成25年3月31日
和田苑	社会福祉法人 周防大島町 社会福祉協議会	平成20年4月1日 ~ 平成21年3月31日
しらとり苑	社会福祉法人 周防大島町 社会福祉協議会	平成20年4月1日 ~ 平成21年3月31日

平成19年度 補正予算

	増減	総額	
一般会計	3億9,291万8千円	147億678万7千円	
特別会計	国民健康保険	4,423万8千円	38億1,368万9千円
	老人保険	1億130万円	49億6,037万円
	介護保険	9,277万2千円	29億5,560万1千円
	簡易水道	6,083万9千円	10億6,601万8千円
	下水道	1,077万7千円	5億5,517万1千円
	農業集落排水	2,210万2千円	4億1,865万1千円
	漁業集落排水	323万8千円	4,165万3千円
	渡船	120万7千円	7,734万2千円
	公営企業局		
	収益的収入	1,922万3千円	42億4,173万1千円
収益的支出	2,844万2千円	42億4,160万5千円	
資本的収入	1億8,520万円	2億7,140万円	
資本的支出	1億8,199万7千円	12億6,660万1千円	

各委員会よりの審査報告

総務文教常任委員会報告

消火出動をスムーズに！



委員長
伊藤秀行

付託された議案はいずれも可決すべきものと決定。

委員よりの質疑に対し、執行部の答弁の内、主なものについて報告する。

総務課関係では、選挙費について、投票所やポスター掲示場が集約されてきたが、もっと減らせるのではないかと問に、350箇所を246箇所に減少した。県選管の承認により減らすことも可能であるが、選挙啓発ということも考えて一定の数は必要であるとの回答。又小型消防ポンプは重量があり、緊急時の積み込みが困難である、ある分団ではポンプ車に積み込むのに1人でも出来るように、スライドさせて車に積み込めるように創意工夫をしているが、今後作成にあたり、材料費など支給が出来ないかと問に、久賀の分団等に配備されている積載車を全分団に配備するのが良いのか、機庫を改良してポンプを車に積み込みやすいようにするのが良いのか、各分団の分団員が所有している軽トラックを出動の際に借り上げて行うのが良いのか、20年度で検討したい。可能であれば21年度から対応出来るとの回答。

総合支所関係では、小規模施設整備事業補助金で、工事請負費、原材料費等が不足した場合はとの問に、予算に不足が見込まれる場合は、補正で対応するとの回答。

又久賀総合センターにエレベーターを設置して欲しいとの問に、設置すれば外付けになり経費もかなりかかる。また今年の10月に

町民グラウンドに防災センターが完成し、この建物の中にホールと研修室があるので対応出来るのではとの回答。

社会教育課・教育支所関係では、ふるさと文化推進事業の内、備品購入費の可動式音響反射板の利用についての問に、持ち運び可能な大きさなので町内の学校や各総合センターの文化行事で活用でき、利用に伴う施設の使用料には影響なしとの回答。

財政課関係では、ガソリン税等の暫定税率廃止になった場合、本町の予算への影響はどの程度になるのかとの問に、自動車重量譲与税6,000万円の減、地方道路譲与税が650万円の減、自動車取得税交付金が3,200万円の減となり、総額約9,850万円の歳入減との回答。

税務課関係では、それぞれの税に滞納繰越分があるが、滞納整理はどのようにしているかと問に、総合徴収体制を取ってから、租税債権については、納税指導に従わない悪質滞納者には、自力執行権に基づき、財産調査等を実施し、給与、財産の差押え等を実施している。また裁判所の関与の必要な民事債権については、支払督促も本年度2件実施している。これらにより、200万円の大口の支払に応じたものが数件あったとの回答。

その他政策企画関係についても質問があった。



民生常任委員会報告

20年夏大島病院着工！



委員長
魚原満晴

付託された議案はいずれも可決すべきものと決定。

審査にあたって、執行部の説明及び質疑・答弁の内、主な項目の一部を報告する。

- * 小学校6年生までの医療費無料
- * 妊婦検診10回まで公費負担

【福祉課関係】

問：社会福祉協議会への補助金及び福祉医療費の乳幼児及び母子等人数の内訳は。

答：社会福祉協議会への補助金は、合併による人件費増と、食の自立等の委託事業の利用者減少に伴う収入減という2要因により、運営が厳しい状態なので町としては出来るだけ助成していきたい。20年度は有償サービスの拡充の検討をお願いしている。

福祉医療費の内訳は、重度障害者278人、重度老人687人、乳幼児424人、母子232人。

問：ちびっ子医療事業の人数と所得基準は。

答：小学校1～6年生約700人、所得の基準は、町民税所得割の限度額136,700円以下を対象にしている。

【健康増進課関係】

問：妊婦検診の公費負担は。

答：国の方針は最低5回だが、本町では超音波検診も含め、10回まで負担する。

問：二次救急医療機関は、周東病院と大和病院だが、本町から大和病院を利用する者はないと思う。大和病院への支払いは必要か。

答：本町からの利用者は殆どないが、柳井医療圏で1割であり、柳井医療圏は柳井市が窓口となって周東病院9割、大和病院1割である。

『意見・要望』

- ・子育て支援を重点的に行うのであれば、妊婦検診14回を全面無料化出来ないか。
- ・保険センターの保健師は、正規職員の常勤体制を維持して欲しい。

【医療保険課関係】

問：後期高齢者医療保険制度と老人保健医療を比較すると、どちらが本町に有利か。

答：新年度からのスタートなので、平成22年度に精算するまでは判断出来ない。

問：今回の制度改正による国の負担は。

答：20年度予算はほぼ同じだが、国保会計において21年度には約1億8,000万円の影響がでる見込み。

問：山口県の均等割保険料は、47,272円ですが、最高額と最低額の県とその額は。

答：最高 福岡県 50,935円
最低 新潟県 35,300円

【介護保険課関係】

問：機械器具購入についての決定方法は。

答：予定価格80万円以下の場合は、見積り合わせにより随意契約。それ以上の場合は、6社以上の指名競争入札としている。

* 大島病院移転新築予算計上
17億2,229万円(本年度分)

【公営企業局関係】

問：大島病院の移転新築事業の内容は。

答：用地費(補償費を含む) 1億4,394万5千円

本体工事	15億円
設計費用	2,719万5千円
外溝工事	3,615万円
周辺対策費	1,500万円
合計	17億2,229万円

問：新病院では療養病床が予定されているが必要な医師数は一般と療養では異なるか。

答：療養病床の方が、法で要求される医師の数が少なく、現在予定している医師で99床が充足出来る。

建設常任委員会報告

環境センターいよいよ始動！



委員長
中本博明

付託された議案はいずれも可決すべきものと決定。審査にあたり主なものについて報告する。

上下水道課関係では、浄化槽の設置予定基数と申込が多い場合の対応はとの間に、5人槽

が35基、7人槽が25基、10人槽が2基で、申込が多い場合は、補正予算で対応するとの回答。

簡易水道事業特別会計では、広域水道出資債元利補給金と水価安定補助金を合わせると1億円余りになるが、いくらの持出しになるかとの間に、水価安定補助金は簡易水道会計への繰入金の財源になっている。広域水道出資債元利補給金は、地方債である広域水道出資債で、本年度償還予定1億6,000万円余りの補填に充てられているとの回答。又水道料の滞納額はいくらかとの間に、2月現在で、約3,264万円であるとの回答。

農業集落排水事業特別会計では、和田地区の加入状況はとの間に、2月現在で、55%との回答。

漁業集落排水事業特別会計では、浮島地区は平成9年の供用だが、もう施設の更新が必要か、補助は何年たってもあるのかとの間に、汚水の濃度が高くなり、ガスの発生により施設の傷みが早いとの回答。又補助金の対象になるとの事。又使用水量が少ない理由と、工事請負費は何かとの間に、自己水源が乏しい為、住民が自主節水している為と、四ヶ所のマンホールポンプの取替工事費との回答。

環境施設課関係では、最終処分場の完成後、現在使用している処分場はどうなるのか、又閉鎖後の管理はどう考えているかとの間に、橘と東和の処分場は地域の理解が得られれば、引き続き有効活用し、閉鎖後の最終処

分場については、公有地である事から適正に管理をしていくとの回答。又し尿処理施設とゴミ焼却施設の運転管理業務を施設施行メーカーの関連会社と随意契約した理由はとの間に、廃棄処分施設の運転管理業務は、施設を安全かつ適正に運転する事と、排出基準を遵守しなければならないという責任管理になる事から、関連会社に委託する自治体が多いのが実状で、信頼性と安全性を考慮すると本町にとって有利と判断したとの回答。

生活衛生課関係では、来年度から空瓶回収については、自治会管理と聞くがとの間に、久賀・東和地区では空瓶の分別を透明、茶、その他の三色に統一し、コンテナボックスを配布し、経過措置として自治会に分別指導謝礼を支払うとの回答。

農林課関係では「農地・水・環境保全向上対策事業」の申請等の方法についての間に、集落でグループ化し、面積に応じ金額を算出する事業で、新規参入は6月末まで受け付けており、希望があれば説明に伺うとの回答。又「担い手総合支援事業」の内容とサポーターの人数は何名かとの間に、120名程度の登録で、1日2,000円の日当及びミカン10kgに加えて、500円程度の弁当と休憩時間の確保をお願いしている。又予算上の直接経費はないとの回答。

商工観光課関係では、観光協会を法人化する事で経費節約がどの位見込めるかとの間に、459万円を見込んでいるとの回答。又商工観光課で行うよりも観光協会で作る方が、自由な取り組みや発想で、町の活性化・発展につながると考えているとの回答。又、特産・土産品販売センター概略検討業務はどんなものを考えているかとの間に、特産・土産品販売センター建設について、既存施設の現況調査や各種法令の調査を行い、基本構想をまとめるもので、その規模は1店舗2坪程度で、出店にあたっては公募によるとの回答。

一 般 質 問

観光産業に力を！

田 村 三 郎 議員

問 タウン情報誌3月号に掲載の、“2008山口のお花見桜名所30スポット”の中で本町の五条の千本桜と帯石観音のしだれ桜が選ばれている。



しかし、五条の千本桜の詳細な説明に「駐車場なし」とあった。帯石観音は少ないなりに10台分の駐車場があり、よしとしたのですが、読者はこのタウン情報誌を見て、五条の千本桜を見に行く気になるだろうか。まして交通手段の悪い所です。せっかく桜の名所に選ばれながらも日の目を見る事ができないのでは。観光

産業を活かすうえにも駐車場の確保が絶対必要と考えるが、町としての考えを問う。

答 (町長) 当面は現状のままで対応せざるを得ないと判断しているが、退避所、駐車場の候補地があれば県とも協議したい。

問 小積地区に在住の某氏は、将来の名所にすべく仲間数人と協力して、静岡県から河津桜の苗木を自費にて、今日までに150本(1本1,200~1,500円)とり寄せ、植林している。町として補助する気持ちがあるのか。

答 (町長) 桜の苗木の助成については、宝



五条千本桜

くじ桜若木植栽事業や宝くじ桜配布事業があるので申請していきたい。

スクラム組んで国との交渉を！

杉 山 藤 雄 議員

問 基地周辺自治体との連携について



答 (町長) 騒音、安全対策や地域振興策に関する情報・意見を交換する為、本町と和木町そして山口県の三者で、岩国基地周辺自治体情報連絡会議を平成18年9月20日に立ち上げ、その後、事務レベルで協議を進めてきた。本年2月10日、岩国市長選の結果『基本的には協力すべき意向を示した』事から基地周辺自治体情報連絡会議が岩国市を含めて、一体となって進める事ができるようになり大いに期

待しているところであり、これからの動向を見守って行きたい。

問 日良居中学校の跡地利用の進捗状況は？

答 (教育長) 町の行革推進本部会議において、統合後の施設の有効利用を検討した。又ホームページ及び町広報誌でも募集をしましたが良案が見い出せないのが現状。建物については防衛省の補助で防音工事をしている為、現在中四国防衛局と転用に向けた協議を進めている。



統合される日良居中学校

ここが聞きたい!!

6名が登壇

騒音対策を万全に！

平野 和生 議員

問 先の岩国市長選で現実的対応をとるとした福田氏が当選し、近隣市町を含め、足並みがそろったと考える。岩国市長は、補助金の申請をしつつも、国に対して言うべき事を言う。すなわち騒音・防音対策はしっかり要望していくとの事であるが、本町としての考えを問う。



答 (町長) 本町としては、県と岩国市長の考えである国の外交防衛政策を尊重し、協力する一方、国に対して言うべきことは言うスタンスをとりながら、個々に要望する

事などを見極めて、住民の安心安全を最優先に取り組んで行きたい。

問 艦載機移転に係る特別交付金の使途についてさまざまな制約があるが、町としての考えを問う。

答 (町長) 最も騒音が増大するであろう三浦・浮島両地区への活用はもとより、全町民の安心安全の確保、福祉・医療の充実といった町民の方から要望の多い住民生活に密着した施策に活用していきたい。事業採択にあたっては、防衛省との協議が必要であることから、協議が整い次第、随時、補正予算等で対応する。



浮島に設置された騒音測定装置

限界集落対策は喫緊の課題！

広田 清晴 議員

問 限界集落(高齢化率50%を超える小規模集落)対策は大事な政策課題、検討対策を。

答 (町長) 集落内個数19戸以下、高齢化率50%を超える小規模高齢化集落は31集落。集落分析と対策は喫緊の課題である事は十分認識している。対応検討していく。



問 昨年12月議会で非核自治体宣言を全員一致で採択した。町行政も対応を求める。

答 (町長) 戦争という過ちを二度と繰り返させないため、核兵器のない21世紀を築く事は私たちの責務。平和憲法・先の議会議

決を尊重し、今後行政の立場からもアピールしてゆく。

問 活気ある町づくりの為、直接委託、指定管理を問わず「声」の反映できる場、横の連携の場を作る事が大事。対応を求める。

答 (町長) 町づくりは町民が主役。町内単独又個々で活動しているグループ、町から事業委託している個人団体の連携組織化は大事な事。可能な限り支援する。

その他 岩国基地関係の質問では、国による岩国市に対する庁舎補助金34億円を支払う約束破りで岩国市を混乱させた責任。前防衛事務次官が中心となり作成した基地再編交付金の誤りを指摘した。



過疎化の進む集落

一 般 質 問

町道補修は緊急の課題！

魚原満晴 議員

問 道路維持管理費について新年度当初予算には2,000万円が計上されているが、住民の皆さんの要望では、道路補修などの小さな修繕が多いと感じている。身近な道路の補修などが早く適正に管理されることが町民の皆さんから喜ばれることである。道路管理者自ら積極的に管理すべきと思われるが、町の考えを問う。



答 (町長) 道路維持工事費として、2,000万円の計上をしたので、要望のある中から緊急順位等を適正に定めて進めていきたい。

又そうする事が効率的な予算の執行にもなると考える。

問 通学路などの主要幹線道路の街路灯や防犯灯は、学校統合に伴う中学生や高校生の自転車通学、更には健康づくりのためのウォーキングなど、住民が安心できる安全対策としても、是非とも必要であると考えが？

答 (町長) 具体的な設置要望箇所があれば、今後は通学の安全性を考え外灯の必要箇所を調査する必要があると考えている。財源につ



荒れた町道

いては再編交付金関連事業の採択要件に該当するのではないかとと思われるので、要望どおり設置に向けて努力をして行く。

釣り客、レジャー客の対応が必要？

小田貞利 議員

問 本町には、年間80万人をこす観光客がある。その中には港内、波止場を利用する釣客、レジャー客も多い。そのマナーは非常に悪く、アミえび、ごみの放置、漁船への投げ込み、サビキの係船ロープへの巻きつけ放置、漁船内の道具類、魚介類の紛失等々、多くの苦情が寄せられている。また路上駐車は町内全域で、日常茶飯事で、一車線の道路では離合できない状況である。観光客100万人を目指す本町は、どのような対応を考えているか？



答 漁港等は公物であることから、危険又は支障があると判断される場所等を除き、立入等を制限されることなく多くの人が釣りをされている状況。ルールやモラルが人によって守られておらず、地域関係者の清掃活動にたよっているのが現状。漁協等関係機関と連携して、今以上に看板等で、釣りマナー厳守を呼び掛けるなど啓発したいと考える。また漁具類の紛失や、交通事故の発生等を誘発しかねない狭隘道路への路上駐車等については、警察等に、盗難防止や交通事故の未然防止に向けた協力要請をしていきたい。

看板等の設置は、是非お願いしたい。道路については、駐車場の確保等が必要では！！



日常化された路上駐車



おめでとうございます

「こちら議会広報部」は創刊号から今日まで、13号をお届けして参りました。この間、多年に亘り地方自治に貢献した功績に対し、表彰を受けられた現職同僚議員を掲載しておりませんでした。今号にまとめて掲載し、栄誉を讃えます。

平成18年2月9日	中本博明議員	15年表彰	全国町村議会議長会長表彰
平成19年2月9日	富田安英議員	15年表彰	〃
	安本貞敏議員	15年表彰	〃
平成20年2月6日	新山玄雄議員	特別表彰	〃
平成20年2月22日	土手正喜議員	20年表彰	山口県町議会議長会長表彰
	神岡光人議員	12年表彰	〃

町政転流 (8)

後期高齢者医療制度の開始！！

75歳以上は国民健康保険ではなくなります

3月定例議会で、「周防大島町後期高齢者医療事業特別会計」及び「周防大島町後期高齢者医療に関する条例の制定」が可決した。定例会初日に全員協議会による説明を受け、民生常任委員会で付託審査され本会議で可決した。

変更の詳細は、広報「すおう大島」にも掲載されているので、ここでは主要な変更についてのみ確認してみる。

【旧制度と変更のない項目】

- 対象者 75歳以上の方。ただし、障害認定者は65歳以上の方から。
- 医療費自己負担 通常1割。ただし一定以上所得者は3割。
- 各申請届け窓口 住所地の市町村（周防大島町）

【新規となった項目】

- 財政運営 ・各都道府県（本町の場合は山口県）
- 保険料 ・国民健康保険税等の保険料負担はなくなり、替わって後期高齢者医療保険料を負担
- ・社会保険等の被扶養者も保険料負担（特例による軽減あり）
- 保険料減免 ・重大な損害等支払いが困難と認められた場合減免措置がある
- 保険料徴収方法 ・原則年金からの天引き（特別徴収） 個別支払（普通徴収）も可
- 保険証 ・後期高齢者医療被保険者証が、75歳の誕生日までに交付
（4月1日以前に75歳以上の場合、3月中に交付済み）

【保険料の内訳】

後期高齢者医療保険料 = 被保険者均等割額 (A) + 所得割額 (B)

(A): 対象者全員が負担する均等額。都道府県別で異なり、山口県は47,272円。最高額は福岡県の50,935円、最低額は新潟県の35,300円。ただし、所得により、7割、5割及び2割の軽減措置がある。

(B): 被保険者本人の基礎控除後の総所得金額 () × 0.0871

() の1例: 年金収入 - 基礎控除33万円 - 公的年金等控除額120万円)



契約関係

工事請負契約 1 件、変更契約 1 件を可決

請負契約	変更契約
工 事 名：H19年度三浦漁港整備工事第2工区 入札執行日：平成20年2月20日 入札社数：13社 落札契約会社：井森工業（株） 金額：1億794万円 落札比率：94%	工 事 名：H19年度三浦漁港整備工事第2工区 工事変更内容：20m追加工事（余剰金を適用） 変更後の契約会社：井森工業（株） 変更後の金額：1億1,713万650円

行政視察

議会広報視察研修

視察地 佐賀県東松浦郡
玄海町議会

3月24日
～25日

* 玄海町概要

昭和31年9月に誕生、現在1,976世帯、人口6,738人。議員数は法定18名に対し条例定数12名で、広報委員会はない。

* 2町の概要比較

	玄海町	周防大島町
広報委員会	なし	6名
発行回数	定例会4回及び 改選人事報1回	各定例会毎4回
発行部数	町広報の中に2頁 議会広報面を掲載	13,000部 (18年度)
規格・内容	A4版 縦書・全色	A4版8～12頁 横書・2色
予算	189万円 維持管理費	1,344,000円/18年 2.15円/P
配布方法	自治会委託にて全戸配布、諸施設にも配置	

* 玄海町の特色

平成16年9月から、ケーブルテレビによる議会議中継を導入。同年12月からはホームページに「議会議中継検索システム」も追加し、議会の様子がリアルタイムでも録画中継でも見ることが出来る。3月24日の視察時も、新年度予算特別委員会中であり、視察者8名で中継を視聴。40型液晶画面の映像はクリアだったが、音声聞き取り辛い感もあった。

休憩中は直ちに画面が変わり、休憩中とテロップ表示され、再開後は直ちに中継となり、細かい配慮も十分であった。

ただし、視聴率は未調査であり、現在でも議会の主要項目は町広報「玄海」に掲載を継続している。経費関係は以下の通り。

- ・総額4,023万3,850円にて、議場及び第6会議室に3台ずつの固定カメラと操作機器を設置。
- ・平成19年から、修理費を含め189万円の維持管理費。人員及び所管は、議会事務局1名、CATV職員1名が撮影財政企画課1名が行政放送の配信スケジュールを管理。

陳情・要望

- ・高齢者に負担増と差別医療を強いる2008年4月実施の後期高齢者医療制度に関する陳情書（陳情・要望の要旨）政府、国会に対し意見書提出を（処置）議員配布

閉会中も継続審査

- ・請願第2号「上関原発建設反対を求める請願書」
- ・陳情、要望第7号「上関原子力発電所の建設促進を求める陳情書」

編集後記 新年度、未来に向かって

久々に魂に響く名文句と出合った。「人間も箸と同じや！ 砥いで出てくる模様は塗り重ねたことばかりや。一生懸命働きや！ 悩んだことも落ち込んだことも、全部綺麗な模様になって出てくるんや」

NHK朝の連続ドラマ（ちりとてちん）の中で、主人公の心を支えた祖父、若狭塗匠職人の人生の悟りとも言うべきありがたい言葉である。上方落語の道と匠の技をもつ職人の道の相似関係を実にうまく表現し、事ある度にこの名文句は私たちに感動を与え、勇気付けてくれた。そしてまた町づくりにも相通じるものを感じる。未来の周防大島町に綺麗な模様となって

出てくる様に、今を大切にしたい。真剣に取り組む論議をすることの大切さを改めて気づかせてくれる。付け加えれば、三世代共に生活をする中、こんな場面はまだまだあるに違いない。



委員長 尾元 武 | 委員 木村 潔
副委員長 魚谷 洋一 | 委員 小田 貞利
委員 伊藤 秀行 | 委員 平野 和生



議会広報・議事録を「周防大島町ホームページ」で公開しています。

周防大島町ホームページ <http://www.town.suo-oshima.lg.jp>
なお、各図書館へは議事録を備えています。